

目指すは「宮前区らしいスタイル」の新施設！

令和7(2025)～8(2026)年度に鷺沼駅周辺に移転・整備する予定の新しい宮前市民館・図書館の検討に向けて、第3回ワークショップを10月3日(土)に開催し、小学生からベテラン世代まで、延べ31人の方にご参加いただきました。

本ワークショップは、新しい施設で行われる事業や使用ルール等の柱を定める管理運営計画の検討にあたって、みなさんと一緒に考えたり語ったりする内容となっており、全9回を予定しています。このニュースレターでは、当日のワークショップの様子やいただいたご意見をお伝えしていきます！



宮前区のじまん、課題から見えてくる「宮前区らしさ」って？

今回のワークショップのテーマは「宮前区らしいスタイルの市民館・図書館を考える」でした。

参加者の皆さんには、「宮前区のじまんと課題」から新施設で「じまんとどう活かす?」「課題をどう改善する?」という2つの段階でテーマについて考えていただきました。

「宮前区のじまんと課題」の段階では、参加者の皆さんからたくさんのご意見をいただき、地元への思いを生き生きと語る姿が印象的でした。

新施設でのじまんの活かし方、課題の改善策を考える段階では、グループ内で意見を共有しながら、新施設でできることを考えていきました。

皆さんからのご意見は次のページに続きます。

郷土資料コーナーも！

今回は、「宮前区らしさ」を考えていただくヒントとして、宮前区の郷土資料を閲覧できるコーナーを会場の一角に設けました！

宮前図書館からたくさんの方々の郷土資料を用意し、多くの参加者の方々が実際に資料を手にとって眺める姿が見られました。



特に鷺沼プールの写真を懐かしむ声が聞かれました。



今回のワークショップでは、計6チームに分かれ、宮前区のじまんや課題から、宮前区らしいスタイルの市民館・図書館について意見を出し合いました。参加者の皆さんがお住まいの「宮前区」が話題の中心だったこともあり、小学生からベテラン世代まで、それぞれの視点でアイデアを出し合っただけで、活発な意見交換が行われました。「じまんの活かし方」では、

「課題の改善」では、地域の情報や歴史について知っている人が少ないので、それらを発信するスペースをつくる、◎遊べる場所

「行きたくなる」を考えると、年間スケジュールを考えようというテーマを検討します。ご期待ください！

■宮前区のじまんについて

種別①	種別②	宮前区のじまん	どう伸ばす？新施設にどう活かす？
人	市民活動	・市民活動が盛ん 子育てサークル等 ・地域のコミュニティが多い ・多様な団体の活動も活発	・地元の基地局から情報や市民活動を放送する ・市民の創作したものを公開できるギャラリーのような場所を作る ・個人の持っている写真やビデオ等を集めて市民ライブラリーを作る
	多様性	・色々な人がいて個性が多様 ・外国人の居住者が多い（39か国）	・多様性を活かせるように交流の場・機会を増やす ・多言語で発信
	その他	・ランニングしてる人が多い(健康意識が高い) ・人がやさしい	・走っている人のために休憩できる場所を作る
	環境	自然	・自然が豊富 ・公園がたくさんある
農業	・地場野菜、フルーツ、梨、メロンなどが美味しい ・農産物直売所が多い	・市民館の中で地場野菜や果物を販売する（マルシェ） ・市民館で市民の作品や農作物を即売できるようにルールを緩やかに	
子育て	・子育ての多様性、自主保育グループなど ・子育ての支援が大きい	・子育て世代と元気な高齢者をつなぐ仕組み“遠くの孫より近くの孫” ・本を探す間など短い間子どもをあずかるサービス	
イベント	・高齢者向けのイベントや小さい子へ向けた幅広い年代に合わせたイベントの充実	・施設内でイベントができることを屋内にも屋外にもつくる	
歴史・伝統	・歴史的な場所が多く保存されている	・歴史について学ぶサークルの存在を活かして、市民が歴史について学ぶ機会を増やす	

■宮前区の課題について

種別①	種別②	宮前区の課題	どう改善する？新施設で何ができそう？
人	市民活動	・地域活動をしている人と全く活動していない人との交流が難しい	
	外国人	・外国人が多いがあまり市民館・図書館で見かけない ・海外からの移住者に施設やイベントをPRする方法が少ない	・外国人と触れ合いやすいような環境にする ・カフェ(インターナショナル)を開く
	その他	・昼間人口と夜間人口の差が大きい	・ワーキングスペース、サテライトオフィスを開設して昼間人口の増加を図る
	環境	農業	・区内の農園があまり知られていない ・メロンが特産なのにあまり知られていない
交通	・交通の利便性が悪い	・市バスの拡充	
特徴	・宮前区といえば“コレ”というものが欲しい	・ランドマークになる建築	
子育て	・子育て世帯が多いわりにサポート施設が少ない(おむつ替えできる所)	・授乳室・おむつ替えスペースなど綺麗な施設をつくる	
地域	・色々な歴史があるけど知っている人が少ない	・情報発信スペースを市民館の中に作る	
遊ぶ	・エンタメ施設が少ない ・スポーツ施設が少ない	・映画館を作る ・スポーツができたり、部活の友達と練習できる設備やスペースをつくる	
市民館・図書館	立地	・図書館が区に1つしかなく、遠い ・利便性が良くない(市民館・図書館)	・本の貸し借りのできる場所を増やす、コンビニの活用 ・電子書籍貸出し
	スペース	・空間を分けていない ・市民が集まりに使える部屋が少ない	・グループ学習ができるスペース ・少し話しながら勉強できるスペース
	利用者	・身体障がい者の利用が少ない ・働く世代の施設利用が少ない ・在日外国人の利用が少ない	・時間によってターゲットを定める ・働く世代のためにジム・体育施設を設ける ・障がい者や高齢者のためのバリアフリー・ユニバーサルデザイン
	ルール	・公共施設利用の自由度が低い	・営利目的に使える公共施設(営利と非営利の中間が必要)
	情報発信	・市民館や地域の情報が届きにくい。IT情報は特に高齢者には入手しづらい ・イベントを知る機会が少ない	・エントランスに電子掲示板でおすすみを伝える ・SNSを使う！(インスタ、ツイッター、LINEなど)

まだまだ掲載しきれないほど、たくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました！

なんでもアンケート

ワークショップ終了後に参加者の皆さんからいただいた感想・ご意見をご紹介します。



色々な意見を聞くことができ楽しかったです。回を重ねるごとにどんどん具体的な話し合いになっていてワクワクします。

中学生とワークできるのは、自分と全く違う視点を持っているので新鮮だった。一方でワークは自慢や課題を施設に落とし込むのが難しかった。



宮前区の魅力や課題を考えることができ改めて宮前区の良さを知りました。

地域の取組について知ることができ、意見を活発に出し合いながら深く考えることができとてもよかった。



今後のワークショップ

第6回までの日程が決定しました！

回	日付	場所	テーマ
4	11月7日(土)	土橋小学校	「行きたくなる」を考える ～年間スケジュールを考えよう～ 済
5	12月5日(土)	土橋小学校	みんなのためのルールを考える①
6	1月16日(土)	土橋小学校	みんなのためのルールを考える②

今回のワークショップは来年の3月頃まで行われ、全9回を予定しています。(傍聴可)

お問合せ

〒210-0004 川崎市川崎区宮本町6番地 明治安田生命川崎ビル3階
川崎市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
TEL 044-200-1981 FAX 044-200-3950